

2 学習指導過程

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>◇資料についての興味・関心を高める。</p> <p>○普段、皆さんは、どんな気持ちで生き物のお世話をしたり、一緒に遊んだりしていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カブトムシが長生きしてくれるように、好きな餌をあげたり、虫かごを掃除したりしています。 ・アサガオの花がきれいに咲くように、毎日欠かさず水をあげています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やすしの生涯や当時の時代背景について解説する。(ギフチョウの発見者である、など) ・身近な生き物を取り上げ、動植物に関わる際の気持ちについて交流する。 ・子どもたちの意見の中で、生き物を大切にしている様子や優しく接しようとしていることに着目し、本時の資料へと結び付ける。
展開前段	<p>◇資料提示をし、範読する。</p> <p>○学校から帰ってきたやすしは、どんな気持ちで、ばらの側に座り込んでいたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ばらが元気をなくしたのはあぶらむしが汁を吸ってしまったからなんだ。 ・おじいちゃんが大事にしているばらだから、何とかしてあげたいな。 ・でも、どうしてあぶらむしとありがばらに一緒に付いているんだろう、不思議だな。 <p>◎やすしが、仲良く生きているあぶらむしやありのことをますます好きになったのはどうしてでしょうか。やすしになってつぐやいてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ありは蜜をもらうためにあぶらむしの側にいて、蜜をもらったお礼に引っ越しを手伝っているなんて、なんだかおもしろいな」 ・「あぶらむしとありは仲良しなんだ。友達みたいでいいことだな」 ・「お互いが助け合っているなんてすごいな。うらやましいよ」 <p>○やすしは、いろいろな昆虫についても観察を続けながら、どんな気持ちでいたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あぶらむしとありの他にも仲良しな虫がいるかもしれないからもっと調べてみよう。 ・調べてみると知らなかったことが分かるようになるのだ。調べてみてよかった。 ・昆虫には不思議なことやおもしろいことがたくさんある。どんな虫でも大切にしたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の資料の主人公やすしがどのような気持ちで生き物と関わっているかを考えながら教師の範読を聞くよう促す。 ・あぶらむしとありの様子について理解できるよう、ポイントを整理する。 <ul style="list-style-type: none"> ①ありはあぶらむしから蜜をもらっている。 ②ありはお返しにあぶらむしの引っ越しを手伝う。 ・やすしになってつぐやきを考えることを通して、あぶらむしとありが仲良くしている様子の不思議さやおもしろさに触れ、更に探究しようとする意欲が喚起されていることに気付かせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【深めの発問】 ★やすしは、どうしてあぶらむしを退治したり、嫌ったりしなかったのかな。</p> </div>
展開後段	<p>○これまで皆さんは、どんなことに気を付けて、生き物のお世話をしたり、一緒に遊んだりしてきましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私が毎日水をあげて育ててきたアサガオに、つぼみができてうれしかった。毎日、きれいに咲いてねと思ってきたからだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活の中に、子どもたちが動植物に優しい心で接している場面や様子を取り上げ、生き物を大切にしようとする心情があることを価値付ける。
終末	<p>◇教師の説話をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の動植物に優しく接したことで愛着をもった経験について語る。 	<p><変容の見届け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分たちが育てている生き物と仲良くできるように優しくお世話をしていきたい」など、日常の飼育や栽培において、動植物に愛着をもち、大切にしていきたいと考えていることを話している。

